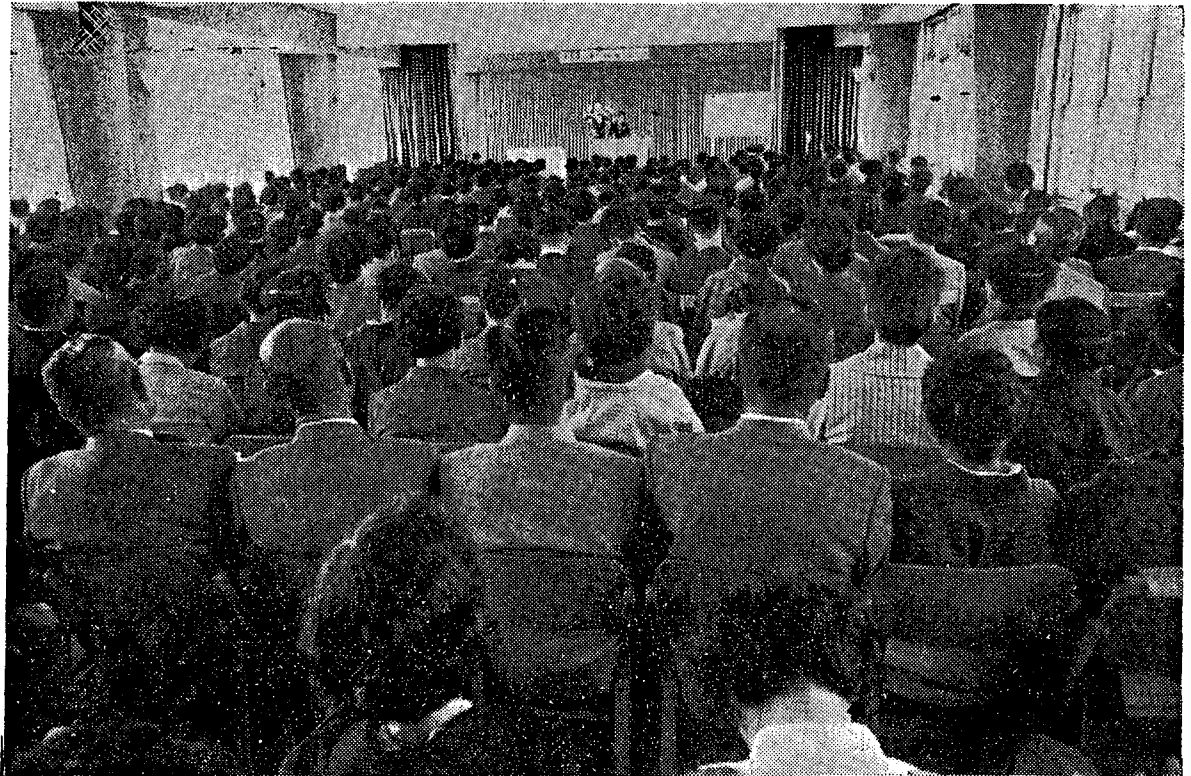


# 拓水

第五一號昭和卅五年十一月十五日發行  
每月十五日一回發行 一部 十円  
昭和卅二年十月十八日 第三種郵便物認可

十一月



(第五回兵庫県漁業協同組合婦人部大会)

兵庫県漁業協同組合連合会  
財団法人 兵庫県水産業改良普及協会

# 第五回兵庫県漁業協同組合

## 婦人部大会開催さる

第五回兵庫県漁業協同組合婦人部大会は、去る十月二十日水産会館において、兵庫県漁協婦人部連合会の主催によって催され、兵庫県知事を始め来賓多数が臨席のうえ、県下の漁協婦人部員並びに関係者約四〇〇名余が一堂に参集し盛大に開催された、以下この大会の模様を簡単に記すと。……

午前九時三十分、大会の開会にあたり県漁協婦人部連合会長より開会の挨拶があり、続いて来賓祝辞として兵庫県知事並びに兵庫県連合会長

があり、大会経過報告のち、第四回全国漁協婦人部大会の参加報告、引続き兵庫県衛生部医務課看護係長の仙賀さんより「衛生的な暮らし方」について講演があった。午後からは本大会の中心である、分科会が三分科に別れて熱心に討議された。なお各分科会でいろいろ検討された事項は、全体討議を経て決議され、大会宣言、漁協婦人部の歌を斉唱して、午後四時県漁協連副会長の閉会の辞によって第五回兵庫県漁業協同組合婦人部大会も盛会裡に閉会された。

ここで本大会の中心であった、分

### 第二分科会

「子供の教育について」

- 1 養育期の実情と問題点
- 2 就学期の実情と問題点
- 3 進学期の実情と問題点
- 4 子供の職業に対する希望と問題点

### 第三分科会

「生活改善について」

- 1 生活をよくするためにどんなことをしたいか。
- 2 そのためには婦人部としてはどうすればよいか。
- 3 婦人部で共済事業を取扱うことについて。
- 4 生活改善及員にはどんなことをしてほしいか。

### 会科会報告

#### 第一分科会

昨年度(第四回)大会で決議された五項目の決議事項の実施状態について、各地区の代表者より報告がありこの問題について検討されたが、

五項目全部を完全に実施している婦人部は残念ながらほとんどないようであった。しかし中には購買品の取扱の問題については理想的に取扱う

科会の報告は概略左記の通りであった。

### 分科会のテーマ

#### 第一分科会

「昨年度大会の決議事項はどう実行されているか」

- 1 購買品の取扱は漁協を通じて行いましょう。
- 2 水揚仕切金の勘定日の延長に協力しましょう。
- 3 予算生活の第一歩は家計簿の記帳であり、これを励行しましょう。
- 4 一日十円貯金の三年間据置をしましょう。
- 5 各種話し合の会合をつとめて多くもつようにすると共に時間の励行をお互に守りましょう。

## 目次

第五回兵庫県漁業協同組合 婦人部大会開催さる……………	1
水産ニュース……………	2
婦人部と試験場	
川越 敬一……………	4
南紀の漁協視察随日記	
石尾 礼子……………	7
漁業今昔	
いわしの巻(10)	
平岡 安民……………	8
ある漁協職員のもの	
楽 餓 鬼 帳……………	10
昭和三十五年九月の 海面漁獲の概要……………	12
やさしい	
漁船機関基礎講座(3)	
水試 杉本技師……………	14

ところもあり、或は貯金についても真剣な努力を払っている婦人部も相当の数に上っていることは力強い感じがした。

家計簿の記帳と会合の時間励行の問題はなかなかむつかしいようであるが、その必要性については誰も認め、特に出納などの記帳は大部分実行しているようであるが、更に簡易な様式の家計簿の考案によって普及を図らなければならぬと思われた。ただ仕切日延長の問題は、単に婦人部のみの力ではできない数々の面があるようで、林崎漁協が十五日精算を実施された実例以外はまだ手がつけられていないようであった。

「しかし林崎漁協の実例は大変よい手本であり、従来ややもすれば不可能とみられがちのこの問題も、やればやれるという確信が植えつけられている。」

今後は組合役職員の方々のこの問題に対する御計画を側面より協力して、その実現を図らなければならぬいと決心を新にしていた。要するに五つの問題とも更に今後とも継続して取り組むべき問題であり、本日の大会を機会に益々婦人部としても努力して行かなければならぬことを再認識した。

第二分科会

この分科会では四項目についてすべて関連性があるので、一つ一つを取り上げずに全体を通じて報告があった。

まづ長期欠席児童の問題が出たが将来漁業を発展させる。段階においていろいろと漁業形体の変化等もあり、また漁業以外の職業にたづさわるとしても、それにはやはり教育が一ばん大切であって義務教育の必要ということが取り上げられ、それは両親が子供の将来に対する認識を深めることがもつとも大切である事。

次に子供の小遣いの問題であるがこれは計画的に与えるのがよいのではないか、例えば小さい子供には一週間単位として与える、小学生は一週間乃至十日間、中学生程度になると一カ月大体四〇〇円から五〇〇円高校生では一カ月五〇〇円位という声が出ていた。

三番目に家族家議を開いてよく話し合いましたよということ、この家族会議とは、例えば子供の小遣いにしてもお母さんが十円の小遣いを与える、すると子供は十円ではたりないからといって、おぢいさんなりおばあさんに無心を言う、するとお

ぢいさんなりおばあさんは孫の可愛さからまた十円を与えてしまうというようなことになる。従ってそうしたことの無いように小遣いは母親から与えるようにするか、またテレビなど見る場合でも、最近子供の教育上問題となるような番組もあり子供に対する影響などを考えると、こうした番組の選択も家族でよく話し合つて決め、時間も午後八時にはスイッチを切るといったような方法を考えるべきである。また就職の問題にしても親の意見と子供の希望との食違ひがあり、親が漁業をつかせようと思っても子供は漁業を嫌い、他の職業につきたいという場合があるが、こうしたことも先生や両親がよく話し合つて子供の就職問題を考えることが大切である。「このように長欠問題にしても、子供の小遣いテレビの問題或は就職問題にしても、こうしたことは家族会議を開いて家族全体で話し合うことが一番大切である。」

なお要望事項として中学校における産業教育に水産科を取り入れて載きたいという意見であった。

第三分科会

先づ生活をよくするということが困が広すぎるため、漁村の食生活

水産ニュース

明石市漁協婦人部

連合会が結成される

十月十八日、播磨地区漁協連の会員であった、明石市漁協組合婦人部が独立してあらたに明石市漁協婦人部連合会として発足することになった。

会員は、市内七組合の婦人とし、本部を林崎協組合内におく。

会長は林崎の海原のぶゑさん、副会長は西二見の竹田ふくゑさんに決定。

市内各地域の漁村婦人の連絡協調婦人部活動、等、ますます強化促進されることになった。

第一兵庫丸引続き

サンマ漁に活躍中

今年度のサンマ漁は九月に引続き著しく不漁気味だったが十月中旬頃より漸く好調を呈し魚価も暴落気配だったが、下旬にはいり相次ぐ台風の来襲と引続く時化のため再び不振となり、第一兵庫丸も出漁漁船の大半と共に十一月初旬現在好漁場探索に懸命の努力を致しており、同船は十月中に左記の如く水揚げした。

第四次航	水揚月日	水揚港
第五次航	十月八日	宮古港
第六次航	十月十三日	塩釜港
第七次航	十月二十日	塩釜港
右合計数量	十月二十六日	宮古港
合計金額	約一〇一〇〇〇	斤
	約二九五、〇〇〇	円

(以上)

をよくするためにはどんなことをしたいか、ということについて意見の交換があった。出漁時の弁当の問題が出たが、副食物は自家生産物の利用はあきが出来て難しいので、どうしても市販のものを利用する度合いが多い、また塩分が多いと高血圧になる可能性が多いと仙賀先生よりお話しをお聞きしたが、食物の腐敗の恐れがあり止むを得ず塩分の多いものを使用しているのが実情である。野菜類の摂取についてはその必要性は充分心得ているが嗜好の面で果せない面がある、漁村における栄養は農村に比べて良いように思われるが、ただ栄養にのみこだわらないで食事の雰囲気をよくするように意を用いれば栄養の摂取は促進されるということをも、もう少し考える必要があると思われる。次に生活をよくするために婦人部はどうすればよいか、この点については県では漁家生活の予算化を図るために月給制度等について考えて居られるようだが、その趣旨は誠によく判るが実現には相当の問題がある。婦人部で幹旋して家計簿をつけたり時間厳守の会合をもったりしている婦人部もあるが、全般的には仲々そこまで行っていないようで今後婦人部としての努力の余地が残

されている。また淡路の仮屋では魚の簡易加工を婦人部で行い、一日二〇〇円程度の収入を得ていることにより生活改善上の経済的裏付としているが、販路について問題があり関係当局のこの面における善処を要望したいということであった。

婦人部で共済事業を取扱うことはその趣旨には賛成であり、充分協力して各地区の実情にに応じて、協同組合とあくまでも連繫をとって進めて行きたい。

生活改善の問題についても先づ部員の話し合いが先決であるが、実情は仲々集まることに困難がある。今後婦人部としては貯金、購買と同じく生活改善についても、年次計画とか月間計画をたて、集る計画をたて、集る機会を計画的にもつようにすることが必要である。夜間でないと集りにくいという意見もあり、地域的にはその必要も止むを得ないと思うが、計画的会合の習慣により定休日等の利用についても充分考慮する必要がある。

また普及員の方からも計画をたて、積極的に出かけるが、会合の際には必ずその会合の目的を定めて、それに沿って一歩づつ改善して行くという努力が必要であり、そのため

に会合の一週間位前には普及員に集る人の実情と目的を知らせてほしいということであった。

△ △ △

以上のように各分科会の報告がそれぞれ代表者より発表され、なおこの分科会で決議、要望された事項を全体討議した結果、次のように大会決議並びに要望事項として採決し今後の婦人部活動を推進することに

本大会における

決議事項並びに要望事項

大会決議事項

- 1 昨年度大会の決議事項(五項目)について、着手したものは更に向上発展させ、未着手のものには早急に実現に向けてあらゆる努力をいたしましょう。
- 2 長期欠席児童をなくしましょう
- 3 子供の小遣いは計画的に与えるようにしましょう。
- 4 家族会議を開きよく話し合いましょう。
- 5 全水共の共済事業に協力しましょう。
- 6 婦人部の事業計画に生活改善、漁村婦人の地位の向上等について部員の意見を交換し合う機会

を作れるような計画を必ず取り入れましょう。

大会要望事項

- 1 漁村婦人でも簡単に記帳できる簡易簿記を考案してほしい。
- 2 中学校における産業教育に水産科を取り入れるようにして載きたい。
- 3 婦人部で行う加工及びその製品の販売面について御指導をお願いしたい。
- 4 生活改良普及員動の活旅費(旅費、研修費)の県費による増額をぜひお願いしたい。

大会宣言

私たち漁協婦人部は、県下それぞれの漁村において、今日まで恵まれない環境の中で、よくその苦しさに耐えながら、婦人部活動に懸命の努力を続けて参りました。

しかし私たちの漁業経営は仲々好転せず、漁家の生活は依然として他産業に遠く及ばないのが現状であります。沿岸漁業の振興が強く叫ばれ続けているこの秋にあたり、私たち漁村婦人に課せられた使命の重大さをよく認識し、私たち漁協婦人部は更に一層の団結を堅め、漁業協同組合を中心に、生産活動の向上及び漁

家生活の合理化等、漁協婦人部本来の目的に向って邁進することを誓います。

昭和三十五年十月二十日

第五回 兵庫県漁業協同組合婦人部大会 (以上)

# 婦人部と試験場

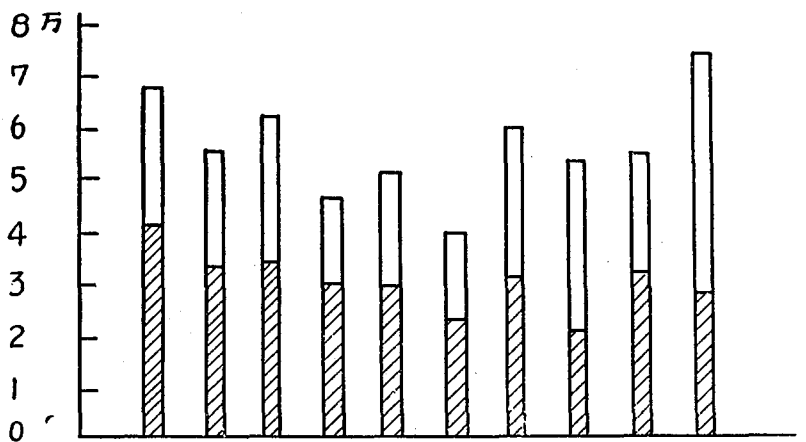
川越 敬一

縁が薄かった両者だが：

漁協婦人部と水産試験場は、今まであまりにも御縁がうすかった。漁協の下部組織には、青年部（水産研究クラブ・水産4Hクラブ）と婦人部とがあるが、そのうち青年部は誕生以来、水産試験場と密接な連絡があった。今春には、そのため試験場の附属施設として漁民教室（一〇二平方メートル）ができたので、漁船機関や航法などの実習には一層便利となった。沖休みの日など、明石や淡路北部の青年たちがよくやって来て、何かと話はずむのである。婦人部の方は、日掛貯金の実行が端緒となり、ついで日用品共同購買事業で伸びてきたという経緯のため

に、これまで県の方は水産課が、また信漁連、県漁連、内海・但馬の両経済漁連がお世話を見てきた。試験場は、婦人部に関心はありながらもその果すべき役割がないままに没交渉にすぎてきたのである。他方、婦人部の方では、水産試験場という名をたまに見聞きするという程度で、どのような研究をしているやら、どんな指導項目を持っているやら、皆目知らなかった、あるいは関心がなかったというのが実情であったことと思うのである。

これがこの七月、漁村に生活改良普及嘱託員がおかれるようになって大部様子が変わってきた。そのいくつかの例をあげてみると、播磨海区で



第1表 1人当りの家計費とそのうちに占める食費の氏較 (いずれも1年分) - 沿岸漁業集約経営調査による

は、水産指導室が水試内に併置されているので、指導室に連絡の電話をすることはつまり試験場に連絡することになるわけで、それだけでも縁が生れたことになる。試験場は、ノリ養殖を重点指導項目にもっている、ノリ養殖の指導では婦人部ともよく接触するようになることとし、十月のはじめには、神戸市漁婦連主催のノリ養殖

講習会に協力した。

今後は、一層、婦人部と試験場とのつながりを密にしてゆきたいし、またそうしなければならぬと思っ

## 漁家の家計と教育

試験場がいまやっている仕事のう

ちで、いちばん、婦人に縁が深そうなもの、沿岸漁業集約経営調査という名の仕事であろう。

これは、沿岸漁業のゆきつまりを開開するために必要な対策を樹立する調査である。たんに県や国の施策（それも課題のひとつではあるが）だけにとどまらず、ひろく漁業や養殖の技術的な改良、漁家の家計・生活の問題、漁村における労働の諸条件の改善などに意見をまとめようとするものである。意見をまとめるためには、現状を正しく分析することが必要であり、それには正確な資料を手に入れることが必要だ。試験場では、昨年、淡路北部から明石・高砂など播磨東部の漁村の実態調査を重ねてきた。ここにお目にかかる資料は、その一部をできるだけ簡単にまとめたものである。

第一表は漁家の生計費とそのうちにある食費の割合を示したものである。生計費全体の金額では、都市勤労者世帯には劣るけれども、農家や全国の漁家の平均を上まわっている。しかし食費が非常に多く、食費以外の経費がいかに少く、食うことに追われているということつまり生活に味わいがなく、豊かさがないうことを如実に示しているのでなか

らうか。このことはまた同時に食生活の内容的改善が急務であることをも示していると信ずる。

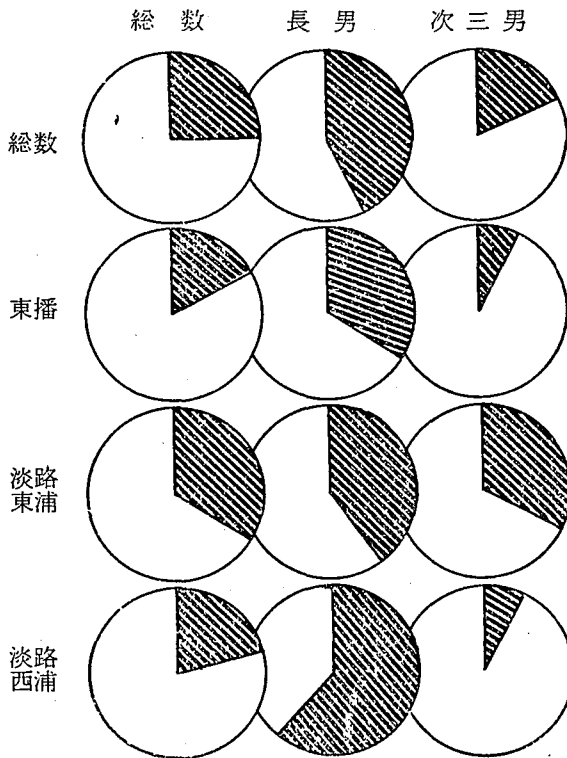
第二表は、やはり同じ調査区域について、今年の三月に、中学校を卒業した漁家の子弟の進路を調べた結果である。東播地区（明石市、阿閉村、加古川市、高砂市）では、漁家の仕事をつぐ男子が非常に少なく、子供たちが（あるいは親たちもまた）漁業に未来を托そうと考えていないことを物語っているといえないだろうか。長男と次三男という立場の相違が卒業後の進路のえらび方になりがちがい方をみせていることも

明らかに観取できる。

### 漁家における婦人の労働

漁家において婦人の地位は、農家などにくらべて比較的高い、というのが通説である。

私たちは、沿岸漁業集約経営調査のなかで、漁家の男と女との労働状態を調べたいと考えた。労働量を直接測定することは、不可能ではないけれども、大層手間がかかり、代表して調査対象になってくたさる方に非常に迷惑をかけるので、つかれの工合―疲労度を測定することとした。県立姫路短期大学家政学科の末



第2表 漁業をつぐ男子  
昭和35年3月、中学校卒業生のうち、漁業を行う者の割合  
—沿岸漁業集約経営調査による—

政、香川両先生の協力を得て、昨年からはじめにかけて、明石浦、浅野浦、（北淡町）別府（加古川市）の三方所で、漁家の男女の疲労測定を実施してみた。その結果が第三表である。この表の示すところを要約してみると―

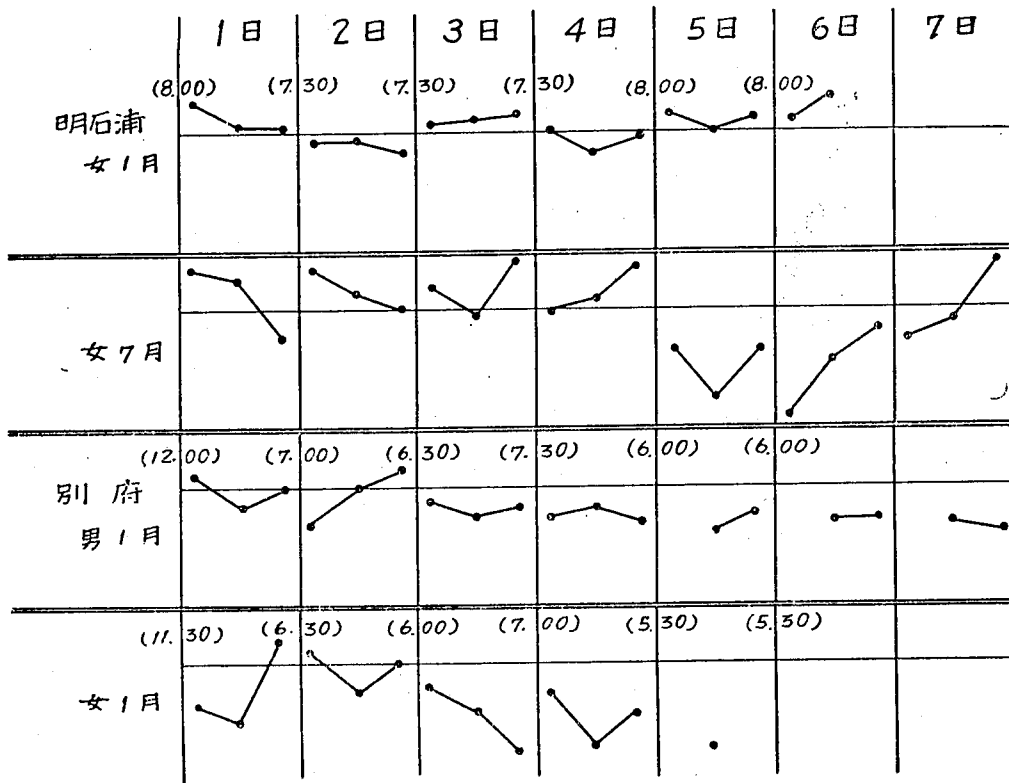
- 1 底曳網などの場合、婦人が沖へゆかなくとも、相当な労働であった、ことに夜漁の場合に著しく、三日ほど夜間出漁がつづく、男女ともに疲労が累積し、一晩の睡眠では回復できない。おそらく生理的にも、心理的にも悪影響があると思われる。
- 2 ノリ養殖の場合、やはりつみとり時には、労働時間が長く、過労が積み重なる。この場合の特徴的なことは、男子よりも女子の方が労働時間が長く、睡眠時間が短かく、疲労が大きいことである。

この労働調査から結論できるのは次のことである。

### 漁家婦人は疲れすぎている

今年の漁村婦人部大会の第二分科会（「子供の教育」がテーマ）で、養育期の問題点として、漁村における托児所が話題になった。そのときの話では、但馬の香住や柴山では

表 3 疲労度逐日変化 ( )内数字は睡眠時間



変動のはげしいものとさがっているものは疲労度の大きいことを示す。

漁家婦人が托児所を相当よく利用していることが報告された。しかし一方、托児所が幼稚園化し、富裕(といっても比較的という意味)な家の子供が多いので、本当に托児所を利

用するのがよいような家の子供一母親が仕事に出てゆき、幼ない子供がひとりるす番をしなければならぬような世帯の子供が通いにくいという事例も報告された。

十月十八日、明石市漁婦連の結成のとき、学校へゆく子供の勉強をみてやるにはどうしたらよいか、という質問があった。漁家の主婦としては、これがいちばん困ることだといるのである。これに対する答は、明石市教育委員会の筒井先生のいわれたことだが、

「母親は、子供の心に安定を与えるように努めてください。小学校も五、六年になれば、母親が子供に勉強を教えるというのは、まず不可能です。それよりも身近かに母親がいるということ、あるいは仕事に出ていても、何所において、何時ごろ帰るかということがわかることが、子供の心に安定を与えるのです。だから、皆さんの家庭に、子供との連絡のために小さな黒板をひとつブラさげてくださ

い。」  
ここで、私は思う――  
試験場の調査にあらわれたように主婦が疲れすぎていては、子供の心に安定をあたえる支えとなることができないうであらう。人間は疲れると、短気になり、なげやりになるものである。漁家の子供によい環境を与えるには、主婦をもっと疲れないうにしなければならぬ

### ノリと婦人

近年ノリ養殖の発展はめざましいものがある。本年の従事漁家はおよそ六六百戸に近く、生産数量は乾ノリ換算一八〇〇万枚、金額にして一億五千万円、イカナゴの水揚げに匹敵する地位を占めるであらうと推定される。

前章にも述べたように、ノリ養殖では、婦人の労働が占める重要性は非常に高い。のみならず、婦人が男子と並んで直接に生産に従事する。このことを無視してはならないと思う。ノリ養殖の技術は日進月歩であるから、研究心の旺盛な人ほど、多くの収穫をあげる。あらゆる水産のなかで、ノリづくりほど研究が大切な仕事は他にないといってもよいであらう。

ノリ養殖漁家では、婦人も研究に参加してほしい。良人だけの頭で考えず、妻もチエをしぼったらいではないか。夫婦が協力して新しいノリづくりに工夫をこらせば、男性だけのノリづくりに倍する成績をあげるだらう。試験場がもよおすノリ養殖講習会には、婦人もどしどし出席してもらいたいものだと思う。

さらにまた、ノリ養殖を副業的にやってみようという漁家（最近淡路方面に多い）では、主役はむしろ主婦にあると思う。クイ打ちなどの重労働を必要とする仕事だけ男に手伝わってもらふこととし、ノリつみ、ノリすき、乾燥、仕上げなど、こまかい手先の仕事は、むしろ女性の方が向いているのでなからうか。

海藻類をとったり、加工したりするのは、大体、女性の方が適しているのだと思う。千葉房総半島の南端にある布良（めら）では

「男は漁業、女は磯根」

といわれていて、磯の一切（テングサ、ワカメ、ヒジキ、貝類、イセエビ）は、漁協婦人部が管理し、増殖事業（磯そうじなど）も婦人部が引受けているとのことだ。昭和三十四年には、ヒジキ一萬貫増収を目的にして、館山（たてやま）の千葉県水産試験場の江野口技師の指導によって、一七一名の全部員が二日間にわたって増殖事業を行なったという。ここまでくれば、婦人部と試験場とは密接不離の仲といえよう。

（県水産試験場普及調査課長、兼、県棋津播磨水産指導室長）

# 南紀の漁協視察随日記

生活改良普及員

石 尾 礼 子

行楽日和の打続く十月二十六日  
神戸西部漁協山田組合長御夫妻の特別な御配慮により、同組合婦人部役員の優良漁協視察の一行に同行の好機を得ました。

早朝神戸出発、段々畑を利用して植込まれ今を盛りと実のる黄金色の密柑を車窓より物珍らしく眺めながら十一時過田辺市に着きました。一行はここで一班に分れ、一班は共同洗濯場で知られている湊漁協組合他の一班は貯蓄高和歌山県随一の江川漁協組合を視察することになりました。

## 貯金の盛んな江川

私は江川漁協視察の一行に加えられました。ここは漁業と加工の町といわれ、婦人部員（五五〇）の八割は加工従業者で目下東北関東方面から輸入されたサンマを、わせり、みりんぼし、等の加工業に備わっており町全体に魚臭がしみこんでいる

ように思われました。一行は江川漁協の中井組合長、下村婦人部長並に婦人部の方々にお目にかかり貯金について種々のお話をうけたまわりました。ここは非常に貯蓄意欲が盛んであり自由に引出しのできる仕組の積立貯金でありながら、ほとんど引出す人がなく貯蓄に専念する傾向です。この外一年二年三年の各定期貯金、旅行貯金（たのしみ）住宅貯金簡易保険等があり、このために専属の集金人を常備して一日平均二〇〇戸位の集金をしているという

とでした。一寸目先が変ったと感じたのは住宅貯金でした。これは組合の資金で目下二万坪の在在を埋立てています。住宅貯金（三年）をしていいる組合員に配分されるという仕組みです。組合の力が漁民の貯蓄意欲の向上に大きな役割を特っていることに感心させられました。

中井組合長は大変温厚な方で漁民へ及ぼす精神的力も大きく、本年度

水産功労者として表賞を受けられた方と伺いました。なお婦人部長も非常に熱心な方で婦人部設立以来五カ年にわたって活動に携わり、生活改善、厚生事業、貯蓄事業を続けその運営資金は組合の助成をおおがず又婦人部の会費徴集等にも頼らず、田辺市民相手の興行と売店の経営に依って年間二〇万円位の収益をあげこれを運営費に当てておられると聞き感心いたしました。

日用品の購置事業は三年位の継続されたそうですが部員さん達が買ひ方が上手になって自分達それぞれのグループで田辺市内の間屋から安価に購入することを覚えたので一応購置事業の目的を果したものと閉鎖されたということでした。又組合に大きな製氷冷蔵庫がありその冷却に使ったなまあたかき清水を水道式に鉄管へ導入して洗濯に利用し一石二鳥の方法を実施しておられました。組合のすぐ前には組合経営の共同浴場もあり入浴料は大人一回五円子供は二回で五円、普通銭湯に比して半値以上で入浴ができるということでした。

## 漁家のサフラー制

翌二十七日は白浜漁協組合を視察



させていただきました。温泉と風光  
明美で名高い白浜の浜辺添に建てら  
れた組合は真白く塗られて清楚な感  
じ事務所の二階会議室には組合と婦  
人部の事業表彰額がずらりとならび  
真珠の母貝の美しい標本が印象的  
でした。岩橋組合長は御郷里が兵庫県  
ということで大変快よい接待のうち  
に白浜婦人部の内容を詳細に話して  
下さいます。又組合の在り方につ  
いて次のように話されました。

「協同組合は漁獲して売る丈では  
ない婦人部の手を借りて生活の向上  
を計ると共に婦人部の地位の向上促  
進が必要である。それには婦人部活  
動を組合活動の一翼に織込んで考え  
るか否かによって婦人部の盛衰がき  
められることになると思う。外郎団  
体を抜かうような考え方であつたら  
組合は行き詰まるでしょう。」と、  
婦人部を大きく評価し力説され、  
私共も一同はそのお話ぶりにすっ  
から魅せられてしまいました。漁民  
サラリーについては婦人部長からう  
けたまわりましたが、サラリー制実  
施三年目の御感想は、  
1 自分の水揚がはつきりわかって  
男の人が自覚してきた。  
2 漁獲の多い時には無計画に買込  
んでいたが、家計簿を付けるこ

とによって無駄な出費がはぶか  
れ生活が合理化された。  
3 漁業資材を仔細に検討して買う  
ようになった。  
4 男女間の考え方が接近しプラス  
になってきた。  
5 貧すれば貧するのとえ漁獲の  
ない時は口喧嘩もしばしばあつ  
たが近頃では話合で家計の切り  
詰りができ、その反面貯金もで  
きるようになった。

6 夫婦円満になった。  
現在組合員(一二〇)は月給制が  
良とわかっていても手配の人々がな  
かなかそれに踏切ることができない  
。しかしそのうちには全員月給制に  
なることを予想されておりました。  
(仕切日が一カ月目ということも月  
給制に踏切りやすい一つの条件とい  
えましょう。)白浜は近畿でも有名  
な温泉郷ですから観楽地にありが  
ちな、はでな空気のために勉強しない  
子供さんが多くてお母さん達の頭痛  
のたねであったそうです。その対策  
として漁協婦人部の手によって日曜  
学校をつくり特別に学校の先生を頼  
んで勉強させ、当日はおヤツは家で  
やらす婦人部で与えることにしてい  
ます。また母親の勉強として研究グ  
ループをつくり子供のしつけ方、

教育問題について研究しているとい  
うことでした。  
このように色々な体験談を混えた  
貴重なお話を聞かせていただきうち  
に時間が過ぎてしまいい心残りするま  
ま白浜漁協を辞しました。二つの組  
合を訪問しての感想は、  
1 組合長が婦人部事業に対して熱  
心な協力支援者であり又人格者  
である。

漁業今昔

いわしの巻 (10)

平岡安民

2 婦人部長が設立以来五年六年と  
継続就任し会の活動に積極的  
である。  
3 婦人部員のほとんどが常時副業  
的な内職を持っていて貯蓄に余  
り苦勞を要しない。  
右の三項の結合された精華はある  
いは偶然でないように思われまし  
た。  
(摂津播磨水産指導室勤務)

団結は保たれるか

私の腹の中には厄介な一びきの虫  
が住んでいた。というよりも元来こ  
の虫を大切に養っていたのである。  
その虫は時々ヒューマニズムという  
取っときの責め道具を使って、私の  
考えや行動に冷たい批判をあびせて  
くる。私はその虫に引きずられるこ  
ともあるし、又それを押えて行動す  
ることもある。もしその虫の命ずる

ままに動くならば、私はこんなに多  
くの人々の意志や個性を無視して駆  
り立て、働かせねばならぬ、この仕  
事を引きうけなかつたらう。第一そ  
んなムホン気の物騒な性格をもって  
いると知つたら、社長も支配人も、  
こいつは共産主義だらうにかんた  
んにきめてしまつて、この船団の仕  
事をまかせてはるか北のはてまで送  
り出しはしなかつたらう。  
私自身もできるだけこのムホン気

を制御しつつ、時と場合によつたら他船以上に漁夫を働かせてでも「是が非でも漁獲成績を上げねばならぬ立場に追いこまれたことを覚悟せねばならなかった。もはや甘っちょろい考えにいたっているわけにはゆかなかつた。思えば足かけ三年会社の飯を食っているが、会社は利益を上げたか、とんでもない。最初の年はかなり漁をしたにも拘らず収益の現金と五人の命と共に運搬船が消えてしまった。二年目は不漁のため大きな赤字となつてしまった。というわけで今年こそ会社としても、この穴うめをやらねばならぬセツパ詰まつた局面にのぞんでいるのである。

もし言うがごとく漁労長の手腕によつて頽勢を挽回できるものであれば、まことに働き甲斐のある職場を与えられたわけである。資本家のためだろうと国家のためだろうと、そんなことにこだわることはない。多くの資材や労力をぶちこんで酬られるところがないということは、労働者の立場からがまんのならぬことである。網に魚がはいれば漁夫のはしくれにいたるまで勇み立って平素出ぬ力を出して働いているではないか。それが人間の本性なのだ。強制して引きずりまわして使わねばな

らぬと限つたことではない。働くことにたいする張り合いとたのしみとを求めている彼等にその意慾をわき上げられればよい。船内一致和合という第一目標が達成されれば、めいめい全力を出して働いてもらえるということは、必ずしも夢ではなからう。

自分たちの茅屋を訪れて、一しよにドブ酒のみ合う親しめる漁労長われわれのことばを解する漁労長、彼等がそういう考え方で接し、いつしか彼等が自分の支持者となりきつていると信じてよい現象にしばしば出逢つた。

ところが内地人は最後の味方であると信じて心をゆるしていた、かんじんのA副漁労長以下の十人位の幹部連中が複雑な態度でのぞんでいることに気がついた。

出漁準備の網つくりの頃からすでに憂うべき傾向が現われていた。これは半島人の懐柔策に力を入れすぎた結果彼等を離反させたということもあつたかも知れない。

船内和合のつぎに網の改良という私の懸案を実施しようとした。

「中央部の魚の第一回の強い当たりをうけるところに十二本合の強い網地を入れるようにしよう」私がこ

ういった時、

「そんな網の仕立方は聞いたことがありません」Aは冷笑をうかべてこう反撥した。そして少し取りつくらうように、

「いい考えかも知れませんがね」傍に居た二三人がかすかにフフと含み笑いをしたのを私は聞きのがさなかつた。しかし自らを押えた。「ワイヤーブレイキをハウスの上から操作するようにしたら、危険がなくてよいと思うが」私がこう提案した時だつて、

「そりやあ、りくつはその通りでしょう、しかし実際の仕事はりくつ通りにやあ、いきませんからね」

私は氣のついた点をドシドシ改革してゆく考えであつたが彼等はあくまで保守的、公式組である。型破りの網なんてあり得ないと信じている。それどころか新米漁労長にたいする不信と軽べつを折にふれてちらつかせて、ひそかに快しとしている様子さえ見受けられる。

折角末端の漁夫にいたるまで懐に入れた氣でいる私は、参謀の連中がしつくり行かぬようではまづいと当惑した。Aは一ぱいきげんになると「この仕事も二十年やつとれば、いろんな経験にも出逢うとばい」

「二十年という苦勞は、ダテやジョー談ではできんこつたぞ」こういって周囲の若い連中をにらみまわすのであるが、実は相手は私なのである。

いわしとり二十年ということばは彼にとつて最上の武器であるようだがこれを真向にふりかざすとき一年生の漁労長など、たちまち尻もちをつくだらうというわけである。

こうなれば自分もあくまで対抗策を考えねばならぬハメとなつてきた唯さへ影のうすい私の存在が、彼に主導権をにぎられては、立ちどころに消えてしまふではないか。

Aはじめ数名の幹部に相談せず直接漁夫に命じてドンドン仕事を進めて行つた。Aがやって来て小首をかしげて、

「これはどういふもんですかね」と不安そうにたづねることがある。

「網というものはね、腹にはいつてしまふのでなければ仕立てられるものではないんですよ、図面を机の上で書いてみたって本当の網にはならんもんですよ」彼等は図面だとか設計だとかいうことばを極度に毛ぎらいしていた。

もうおまえたちの上手に出たり機嫌をとつたりはせぬぞ、という氣も

ちをぶち付ける気になった。

「おまへたちはいわしとり二十年  
と行って威張っとるが、いわし網ば  
かりやとる人間に網はわからんよ  
底曳もやり定置もやり、いろんな網  
を手がけてきて網というものがわか  
るんだ。つまり他流試合をやつて来  
なくちゃ本場の網仕事はわかるも  
んじゃないんだよ」

「この網だつて一日でできたも  
んじゃないんだ、改良に改良を重ねて  
ここまで来たのだ、これからだつて  
はねばならん」

「おまへたちは、いわしを旋いた  
時あばばかり見てるだろう。俺は  
な、あばなんぞ見んのだ。専らいわ  
しを見るよ、いわしが見えるかつて、  
それじゃからだめなんだ、いわしがど  
ういう風にしめられているか奥で深  
さ何いろのところにあるか、いつも  
それを頭においてるんだ。いわしが見  
えるようになくちや本当じゃないん  
だよ」

こんな時連中はしぶい顔をして急  
にソッポ向いてしまうのが常である  
おまへはりくつをいせりやうま  
いもんだ、おれはりくつはきらいだ  
といたげな顔付きで苦りきつてい  
るのである。若い連中にいたつては

ケムリに巻かれたように無表情でボ  
カンと、私の顔をながめているばか  
りである。

ともあれ三十五才という若さは、  
いかなる障害も起こらば起られ、一  
蹴してまかり通るぞという闘志に満  
ちていたのである。

社長が私のために一夜壮行の席を  
設けて励ましてくれた。その時、

「あんたは若いからなあ」と切り  
出されたので、大いに勉強しろとい  
う話かと思つていたら、

「前途春秋に富むか、若いものは  
羨しいなあ」こういつて独りごとの  
ような調子になって、上ぎげんで盃  
をふくんでいた。自分は信頼される  
ような何ものもたない。何か取柄  
があるとしたら若い故のガムジャ  
ラな勇気位のものだろう。

彼等の鼻先が出しやばつてきたら  
それをとりひしひしで押し返してゆこ  
うと腹できめていた。しかしそれで  
も尖鋭化した場合が屢々現われたと  
はいえ、私は機会あるごとに彼等の  
きげんも取り結び、何とかまらめて  
ゆこうと努力していた。

こんな調子で沖へ出ていた時一寸  
した、いざこざが異人種の漁夫の間  
に起つた。取るに足らぬ小ぜり合ひ  
であったが、それを現場に居合せた

Aが一応とりしづめた。このさばき  
方に人種の偏見による不公平があつ  
たというので、それがいつまでもく  
すぶつて次第に反A熟しこれは平素  
からあつたものだが、次第に火の手  
を上げて来た。

「平岡は半島人を甘やかしすぎ  
る」と常に不満をもらしていた彼は  
人使いも荒い。尤もそれは一般内地  
人幹部の共通のものであつたが、私  
の『変な温情主義』に反撥して、

「あいつらはあまい顔しとつたら  
手におえなくなる」という主張のも  
とに強圧を高めた節がある。A排斥  
運動を表立ってくる、

「とうとう奴等を増長させてしま

## ある漁協職員のもの

# 楽 餓 鬼 帳

## 14 職 員 丸

動かないものをうまく組合せて動  
かす原動力を持つて行くのが、心理  
学及び生理学を応用した人間原理を  
基礎にして、能率を上げてゆく経営  
管理であると、偉さんはむづかしい

「た」といつて暗に強に調子で私を  
非難しているとも聞こえた。それど  
ころか私が使唆して彼を陥れる陰謀  
をめぐらしているという誤解さへと  
も生まれているらしい様子である。

これは困つたものだ、と私も頭を  
いためた。Aはうるさい型であると  
しても、あくまで自分の片腕であり  
反抗を示すことはあつても仕事には  
忠実である。彼を浮き上らせたら陣  
容に忽ちガタが来ること明らかだ。

もし伝えられるように彼を追放する  
などという運動が表面化してきては大  
変である。鳥合の漁夫連中とはいへ  
勢の趣くところ、逆睹すべからざる  
ものがある。

ことをおっしゃる。

その為か、非ずか奥や漁連は双手  
を挙げて四日クラブや婦人部の会を  
開いては漁村の幸福の為に、その育  
成強化にとめて居られる。むべな  
るか……だ。

そのむべなる話の上にこの問一す

耳にした話してはあるが、但馬の方から漁協職員のシステムを連合体の形で作り上げて行こうという機運が盛り上っているという。

その内容や細部については、ぼくらは知るよしもないがとに角それをお互で形造ってゆくということにはぼくは賛成だ。

淡路でも早くから協議会組織は生れているが更に大きいものへの発展の為に大きい渦中に同化さしてゆくのも一つのよい方法であろうと思はれる。

設立委員というような大げさな事は言はないまでも、組織を醸造してゆかれる方々には種々の方面から大いに研究されて一日も早く漁村のため組合のため、そこに働く職員のため職員連合組織という真新しい船の出航用意の汽笛が勇ましく吹鳴される日待ちわびている。

これはほく一人だけの渴望だろうか。 三月二日

### 15 准新の曲

7の三本の矢を再び読んだ後で

組合が三つに分裂したことに対する批判や検討は今までに各方面から各角度から幾度となくなされてきた

が整備法と相まって将来郷土の全漁民がいかにすれば幸福になれるかをみんなで真剣に考え合せてゆかねばならぬ時期がきた。

十年昔を懐古(?)し、その当時をしのべば、一概に感情的だとか無自覚だったといわれぬ点多々あるうし、それ相当にうなづける理由があつたに相違なからう。

然しながら漁民の民主的な意識と充分な自覚と、深い理解に立つて作り上げられたのでなかった。分派とすればもう一度冷静に考え直す機会を作ってもいいのじあなからうか。

そういうふうになんか考えお互に心の平和を保ちつつ、もつれた対立感情や業種別調整等をときほくしてゆくとき、睥睨が融和に変わり反目から敬愛に変じて、初期の目的が結実するだろうと考える。網と釣とは融合できないという先入観も

あのテールエンドが代名詞のようになつていた。われらが大洋ホエールズが監督の采配と総力と熱意とによつて一躍セリーグでペナントを獲得した事実をもってしても、それはさらりとかなぐり捨てなければいけないと思う。

県下でも近き将来幾つかの組合を残して幾つかの組合が統合される計画が持たれ、槍玉に上つたのが、我

々の地区三組合だと多くがいくら合併が倫是であつても世の中が原子時代であろうとも、ぼくはその各々の行程については、急いで仕事を仕損じる"というたとえのようにスピード化は禁物で一つ一つを積み上げてゆくようにしないと砂上の楼閣の如きものになるおそれが多分にあると思う。

合併はしたもののまだゴタゴタともめ続けている町村の例は少くないが、そんなことのない為にも浮重を期すべしだと痛感する。

合併えのむづかしさと思はれる漁場の行使と資源関係と漁業の調整問題等については、小さいものには蓋式でなしに将来とも起り得ると思はれるメモゴトや不祥事についてはこの際徹底的に話し合い妥協点を見出しておくべきだと思ふ。

お互に納得できる線までには総余曲折があるだろうと思はれるが、これにへこたれずみんなの向上のためには、みんなで話し合い議論を尽くした上に築かれた合併でなければ真に実態の合併とはいえないだろう。

相対する意見についてはお互が冷静に検討し、そのなかから何物かを学びとろうとする理解を常に忘れぬようにして審議を生かしてゆく態度が必要で相手の出方をみただでこち

らの出方を工夫するとかどの程度の譲歩で妥協しようとかあらかじめ知恵をしぼるのはいけないと思うし、話し合つて話し合いがつかぬことはないという自信が肝要だと思ふ。

そんな第一段階を通過する頃になると、財務処理の問題も新組合の事業運営方式も随性により、案外スムーズに行くものと思はれる。

大同合併の終着駅に無事達する為には、やがてこれを推進してゆく為の協議会なるものが誕生して着々その実を挙げられることに相なると思うが、笛吹けど躍らぬ式では容易な事ではないように思はれる。

が、協議会の委員は勿論種別代表いな全組合員の尽きせぬ話し合いで一億総躍起し一億総懲悔をしみんな責任をもち合つてこの大改革に体当りしてゆく姿の中に新しい漁村の基礎ができる、ぼくは確信する。

猫のくびに鈴をつけに行く風のように、そんなムードを全組合員の中に如何にすれば早く惨透さすことができるだろうかについては残された大きな課題だと思ふ。

ぼくが毎日欠かさず読んでいる新聞小説の私本太平記は北条幕付を倒し、天下を流しし天皇親政を謳歌した建武の中興がはやくも瓦解しかけた条だが、

こんなことになつてはいけなさと痛感する次第だ。 十月二十五日

練習問題

- 1 焼玉エンジンで掃除空気が何故必要か。
- 2 焼玉エンジンでクランクアームが水平の位置にあるときシリンダーカバーを開けて中をのぞくと何が見えるか。
- 3 同じような大きさのエンジンで4サイクルは2サイクルのエンジンよりフライホイールが大きい。何故か。
- 4 焼玉エンジンのクランクケースのエヤバルブから白い煙が吹きだした。どんなことが考えられるか。
- 5 焼玉エンジンの吸気孔と排気孔はどちらが先に開くか。それは何故か。

(わからないのがあれば10月号を見て下さい)

点ディーゼル機関は焼玉や電着にくらべて、排気温度は低い、つまりこの損失は少ない。

⑥について

機械的損失というのは磨擦損失のことである。ピストンとシリンダー、ガシヨンピンの当り、クランクピンの当り等各部磨擦によって損失が生ずる。もしこれらの金属の接触面の当りが悪い場合には、それだけ磨擦が大きくなり損失が大となる。つまり機械効率がおちる。この損失は負荷による変化はあまりないが、やはり軽負荷の方が割合に少ないことはいえる。(オーバーロードはすべての場合に悪い。)

⑦について

冷却水により持ち去られる熱量は、冷却面積、温度差及び時間は比例する。大きな機関になる程冷却水によって持ち去られる熱量は減少するといわれる。

また高温の水による冷却は低温によるよりも温度差が小さいから、損失が少ない勘定になる。

機種 効率及損失	ディーゼル	電 着	焼 玉
正味熱効率	30 ~ 33	18 ~ 26	18 ~ 27
冷却水損失	21 ~ 28	30 ~ 37	18 ~ 23
排気損失	28 ~ 40	30 ~ 40	40 ~ 56
機械的損失	6 ~ 9	7 ~ 12	8 ~ 10
与えられた熱	100	100	100

陸上のバス等はもっぱら高温冷却(80°C~100°C)し、サーモスタッドによって調整している。高温冷却はシリンダーの磨耗に著しい効果がある。

昭和三十五年九月の海面漁獲の概要

水産課調整係

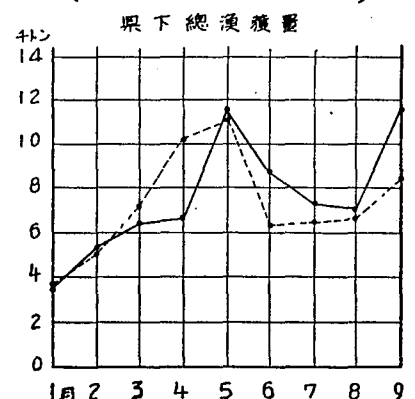
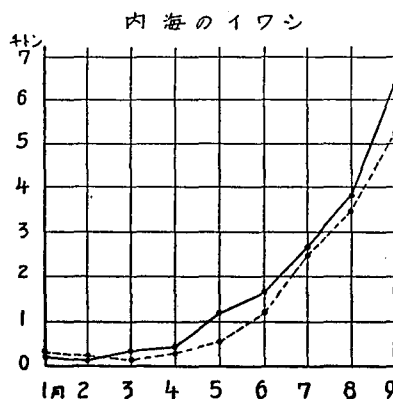
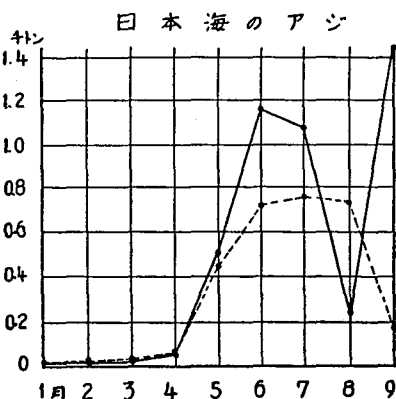
昭和三十五年九月中の海面総漁獲量は、一一、九七三トンで、前年同期の一四五%、過去五カ年(昭、三十、昭、三十四)同期平均の一三〇%である。これは、内海の大坂湾側において、イワシの好漁があったのと、日本海において、アジとイワシの豊漁があったためである。

九月に入り、内海では、サワラひき縄漁業が漁期に入ったが、その漁獲成績は、かんばしくなく例年量の約七割程度である。また、日本海では、九月十一日から、中型機船底びき網漁業が操業を始めたが、これの漁獲は、順調で平年なみの水揚げである。

(魚種別海面漁獲量の表はウラ表紙に掲載)

本年の月別漁獲量と昨年の月別漁獲量との比較

(— 本年 ——— 昨年)

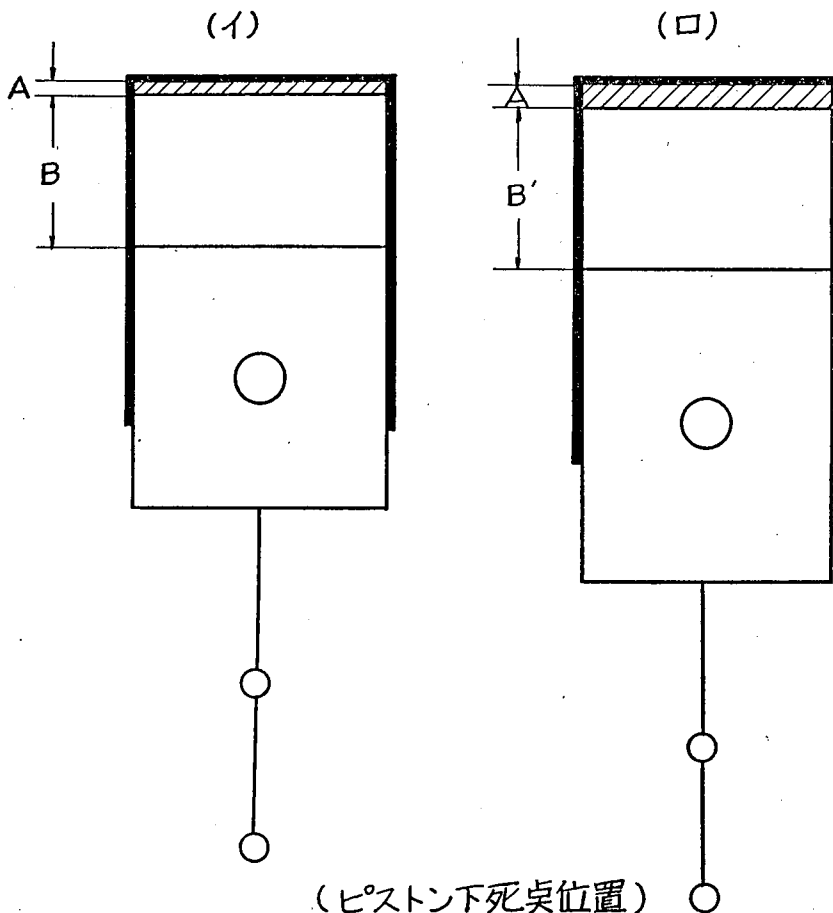


いて説明すると、

- 1 内径は同じ
- 2 トップクリアランスも同じ
- 3 ストロークが異なるとする

と、両者に空気を吸いこんで圧縮し、トップにきた場合(イ)(ロ)で圧縮圧力はどのようになるだろうか。ここで考えなければならないことは空気の性質で、空気を圧縮すれば、圧縮後の空気の圧力及び温度は共に高くなるということである。その時の圧縮圧力が強ければ強い程、圧縮後の圧力及び温度はさらに高い。昔ドイツに於てディーゼル第1号機が試験された際、圧縮圧力が高すぎたため大爆発を起し、惨状を呈したといわれている。このことから考えると、下図の場合(ロ)は(イ)より圧縮圧力が高いことが分るであろう。つまり圧縮比とは、クリアランス容積Aとクリアランス容積Aにピストンの作動容積BまたはB'を化えたものとの比をいう。例えば(イ)において圧縮比が1:18ということはA:(A+B)即ち1:(1+17)のことである。因みに各機の圧縮比を列記してみると

ディーゼル 1/18~1/20



焼 玉 1/9前後  
電 着 1/6~1/8

である。空気を1/18~1/20位にまで圧縮すると温度は大体600°C位に上昇し、燃料が着火爆発を起す。焼玉機関や電着機関は上記のとおり圧縮比が低いために空気圧縮だけでは着火しない。したがって焼玉やマグネトーはエンジンの着火補助装置の役目をする。

### 熱効率

熱効率とは一口にいて有効な仕事をした熱量と、与えられた熱量との比を言う。(一寸ヤヤコシイ)では有効な仕事をした熱量とは何か。

今海上を走っている漁船に目を転じてみると、先ず聞えてくるのは煙突からでる排気の騒々しい音①と、機械そのものの稼動音②である。それと船のサイドから流れだしている水③が見える。これらは明らかに与えられた熱量により生じたもの一部である。人間は慾がふかいから、これを損失とみて

- ① を排気損失 (燃えのこりのガス)
- ② を機械的損失 (機械の稼動によって生ずる磨擦はやはり損失である)
- ③ を冷却水損失 (冷却によって機械の発熱を防ぐが、熱を吸収するためこれも一部損失とみる)

と呼んでいる。

すなわち与えられた熱量をTとすると、有効な仕事をした熱t量は

$$t = T - (A + B + C) \text{ となり}$$

$$\text{即ち熱効率} = \frac{t}{T} \text{ となる。}$$

従って①②③が小なる程、熱効率が大となることがわかる。

①②③についてももう少し詳しい説明をすると

①について

排気温度が高く、また音も高いというのは、シリンダー内でガスが十分に膨張せず、それだけ余分の熱が外へ排出されていることとなる。だから圧縮率の高い機関程完全燃焼して排気温度は低い。その

# やさしい 漁船機関基礎講座 ③

水試 杉 本 技 師

## 指圧図

馬力の項で説明したが、シリンダー内の発生馬力を図示馬力と呼んでいる。これは指圧器（インディケータ）をシリンダーに取付けて、シリンダー内の圧力をとるのであるがこの時の圧力の状態が、指圧器に巻かれた紙に自動的に図示される仕組みになっている。例として4サイクルディーゼル機関の指圧図の略図を次に示す。

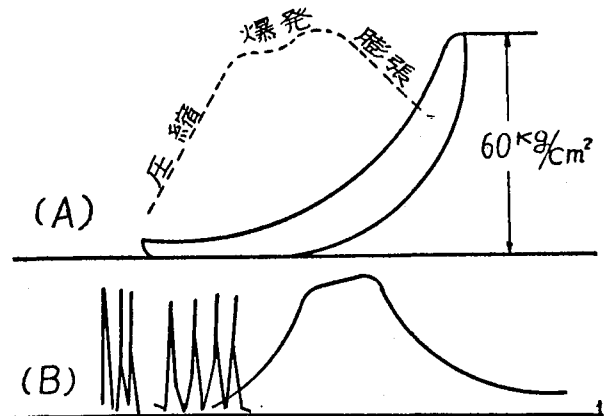
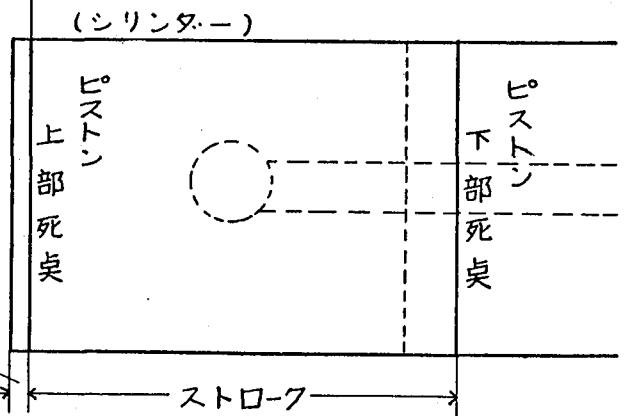
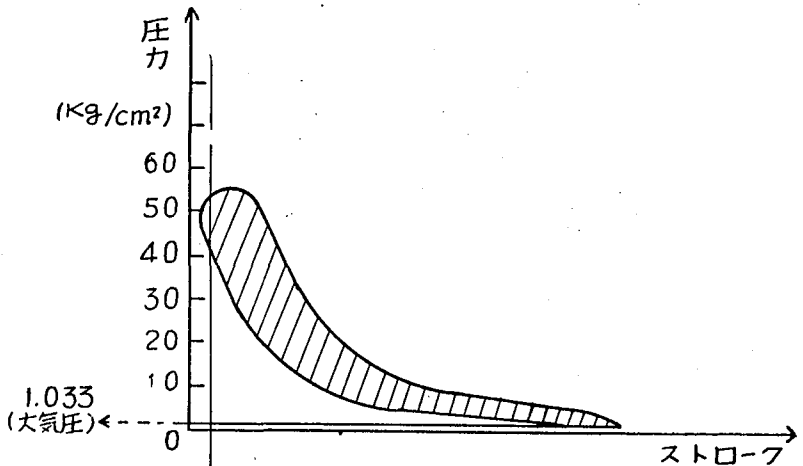
右図の斜線の部分の面積を図って馬力を算出する。

指圧をとる場合、小馬力の機関では一般にストロークをとらずにピストンがトップにきた時、指圧器のコードのみを引張ってペーパードラム（圧力が記される紙まき筒）を廻して最高圧力の変化をみる事が多い。これを手引線図（ドロウカード）という。これは、局部的に一層わかりやすくするためによくつかわれる線図である。一般に内燃機関の重要部はシリンダー内の燃焼の点であるから、この点を主眼として、その状態をA、B図の如く手引線図で曲線を大きくして見るのである。

実際には焼玉機関や電着又は小型ディーゼルには指圧をはかる装置はなく、軸馬力の測定にとまっている。

## トップクリヤランス 圧縮比・ストローク

前項指圧図の所で一寸ふれたが、ピストンが上部死点にある場合、ピストン頭部とシリンダーカバーの下面とにすきまが設けられているが、これをシリンダーのトップクリヤランス（上部間隙）



と称し、その容積をトップクリヤランス容積といっている。これを設ける理由は、クランクピンやガジョンピンのメタルが磨耗した場合にライナーの増減により調整したり、また圧縮圧力の調整にこれだけの余裕がなければできないこのことを頭に入れて圧縮比について考えてみよう。

今右図のように同じ大きさのエンジン(イ)回につ

昭和35年9月中の海面漁獲量 (単位: トン)

海区 年度	県 総 計				瀬 戸 内 海				日 本 海			
	35年	34年	増減量	率	35年	34年	増減量	率	35年	34年	増減量	率
魚 種	11,972.8	8,258.1	3,714.7	145	7,811.2	5,895.4	1,915.8	132	4,161.6	2,362.7	△ 1,798.9	176
魚 類												
イ ワ シ	7,556.3	5,054.5	2,501.8	149	6,350.5	4,360.4	1,990.1	146	1,205.8	694.1	511.7	174
イ カ ナ ゴ	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.
タ ラ	0.3	3.7	△ 3.4	8	.	.	.	.	0.3	3.7	△ 3.4	8
カ レ イ	128.9	129.5	△ 0.6	100	32.3	34.4	△ 2.1	94	96.6	95.0	1.6	102
タ イ	49.9	35.2	14.7	142	19.8	25.4	△ 5.6	78	30.1	9.8	20.3	307
サ バ	84.6	5.3	79.3	1596	17.4	0.1	17.3	.	67.2	5.2	62.0	1292
ア シ	1,541.4	331.5	1,209.9	465	90.2	141.1	△ 50.9	64	1,451.2	190.4	1,260.8	762
サ ワ ラ	20.6	30.7	△ 10.1	67	20.4	30.7	△ 10.3	66	0.3	.	0.3	—
ブ マ リ	44.6	50.2	△ 5.6	89	43.3	42.8	0.5	101	1.3	7.4	△ 6.1	18
ハ マ チ	36.7	31.2	5.5	118	36.7	31.2	5.5	118	.	—	.	—
ボ ラ	36.7	31.2	5.5	118	36.7	31.2	5.5	118	.	—	.	—
ハ モ	70.1	51.0	19.1	137	70.1	51.0	19.1	137	.	.	.	.
ア ナ ゴ	47.8	43.5	4.3	110	47.8	43.5	4.3	110	.	0.1	—	—
シ イ ラ	22.2	65.8	△ 43.6	34	14.4	3.9	10.5	369	7.7	61.9	△ 54.2	12
サ メ	13.2	10.3	2.9	128	9.8	6.1	3.7	161	3.5	4.2	△ 0.7	83
ハ タ ハ タ	9.9	2.9	7.0	341	.	.	.	.	9.9	2.9	7.0	341
ニ ギ ス	910.0	1,016.8	△ 106.8	89	.	.	.	.	910.0	1,016.8	△ 106.8	89
その他の魚類	586.5	447.2	139.3	131	390.9	354.0	36.9	110	195.6	93.2	102.4	210
(魚類計)	11,123.1	7,309.4	3,813.7	152	7,143.6	5,124.6	2,019.0	139	3,979.5	2,184.8	1,794.7	182
水 産 物												
スルメイカ	16.0	68.1	△ 52.1	23	.	.	.	.	16.0	68.1	△ 52.1	23
その他のイカ	172.1	198.8	△ 26.7	87	49.2	114.9	△ 65.7	43	122.9	83.9	39.0	146
タ コ	260.0	185.0	75.0	141	257.8	184.8	73.0	140	2.2	0.1	2.1	2200
エ ビ	269.3	270.8	△ 1.5	99	232.3	247.2	△ 14.9	94	37.0	23.9	13.4	157
カ ニ	19.0	23.0	△ 4.0	83	19.0	23.0	△ 4.0	83	.	.	.	.
ナ マ コ	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.
その他の水産動物	2.6	6.9	△ 4.3	38	2.6	6.9	△ 4.3	38	.	.	.	.
(水産動物計)	739.1	752.5	△ 13.4	98	560.9	576.8	△ 15.9	97	178.1	175.7	2.4	101
貝 類	110.3	196.0	△ 85.7	56	106.3	193.9	△ 87.6	55	4.0	2.1	1.9	190
藻 類	0.4	0.3	0.2	200	0.4	0.2	0.2	200	.	.	.	.

(注) △減は ○は50kg未満 (50kg以上は100kgに切上げ)